

国民の命は二の次か

福井県内各地で抗議



抗議の声を上げる人たち=29日、福井市

関西電力が高浜原発3号機（福井県高浜町）を再起動した29日、福井県内各地で「再稼働なんて許せない」と、抗議宣伝行動が行われました。関電は2月下旬には4号機も再起動し、両機とも、通常の原発でウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料を使う危険なプルサーマル運転です。4号機は今回が初めて。福井市の関電地域共生本部前では、安倍政権や西川県政、関電に對し、「福島事故などなかったかのように再稼働など、ありえない」「利益のためなら国民の命は二の次三の次か」など、代わるがわる抗議の訴えが行わ

れました。

日本共産党県委員会からは南秀一委員長、金元幸枝書記長、佐藤正雄県議らが参加し、佐藤県議は、県民説明会すら開かれていない現状を告発するとともに、「福島第1原発で今一番放射線量が高いのは、プルサーマルだった3号機だ。危険な原発はやめるべきです」と訴えました。保育士の女性（43）は「子どもたちの安全を奪う再稼働なんて絶対許せません」と話しました。高浜町では、日本共

産党嶺南地区委員会の宮崎治宇蔵委員長（小浜市議）、渡辺孝高浜町議らが街頭から訴えたほか、原発住民運動

福島の事故置き去り

福島駅前で緊急宣伝

ふくしま復興共同センターは29日昼、関西電力高浜原発3号機（福井県）が同日再稼働される動きのなか、福島市のJR福島駅前通りで緊急の宣伝行動に取り組みました。斎藤富春代表委員がマイクを握り訴え。日本共産党の、いわぶち友参院比例候補も「いまだに10万人余の県民が避難を余儀なくされ、増え続ける関連死

者2013人。農林水産業や観光なども事故前の水準に戻っていない。高浜原発では周辺自治体の避難計画もなく、再稼働は無謀だ」と訴えました。ヒラを受け取った女性（69）は「いわき市在住は、原発再稼働は絶対反対。福島の原発事故が収束しないまま置き去りにされようとしている。安倍政権のすべてに腹が立つ」と

高浜原発の再稼働反対を訴える緊急宣伝行動。訴えるのは、いわぶち候補（右端）=29日、福井市



憤りました。福島市在住の中島三枝子さん（53）は「福島原発の廃炉も放射性廃棄物の処理も、めどが立たないのに原発を推進している。現実を直視した政治に切り替えるべきだ」と話しました。